

降雨強度計設置

2005年9月9日福島大学理工学群共生システム理工学類自然共生再生プロジェクトの一



屋上に設置された降雨強度計

環として、降水システムと降水の量的変動に関する研究を実施するため、屋上に降雨強度計が設置された。

9月4日東京三鷹市新川(長久保)で1時間105mmの降水量が観測されるなど、豪雨災害でも短時間強雨が問題になっている。こうした短時間強雨のメカニズムを解析するには、これまで以上の短時間での降水量観測が不可欠になっている。福島大学では、これまで屋上に設置

されているL-Band Radarと組み合わせたり、気象庁が観測している降雨Radarと比較し、短時間降水強度の変動や変動



これまで12年間観測してきたL-Band Radar

のメカニズムとあわせて、確度のある降水量の定量化の研究を行う。

今回設置したロイヤル機器株式会社製降雨強度計(PPR-01)は、10秒単位で0.1mmの降水強度が観測できるシステムで、降雨レーダーなどのecho強度と直接比較することが可能である。